様式３

会　　議　　記　　録

　次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議会等名称 | 令和３年度　第２回近江八幡市総合教育会議 |
| 開催日時 | 令和３年７月１６日（金）　9時30分 ～ 11時00分 |
| 開催場所 | 近江八幡市役所３階　市長応接室 |
| 出席者※会長等◎副会長等○ | 出席者（敬称略）市　長　小西 理（◎）教育長　大喜多 悦子教育長職務代理者　久家 昌代教育委員会委員　八耳 哲也、西田 佳成、安倍 映子◇傍聴者　１名 |
| 次回開催予定日 | 　未定 |
| 問い合わせ先 | 所属名、担当者名　総合政策部企画課　今井電話番号　　0748-36-5527ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　　010202@city.omihachiman.lg.jp |
| 会議記録 | 発言記録 ・ 要約 | 要約した理由 | 内容を整理して、わかりやすく記録として残すため |
| 内容 | 別紙のとおり |

担当課⇒総務課

＜会議記録（要約）＞

|  |  |
| --- | --- |
| 事　務　局 | 1. 開会
 |
| 市　長 | 1. あいさつ
* 短い時間だが、忌憚のない意見をいただきたい。
 |
|  | 1. 事務局より
* 現在市長が会議の座長として、議事の進行や取りまとめを行っていたが、市長と教育委員との意見交換をより活発にするため、進行役を事務局の長が行うこととする案を提出する。
* 反対意見無し。今回の会議より進行役を総合政策部浪江部長が務めることとなる。
 |
| 事　務　局 | 1. 議題
2. 近江八幡市教育大綱の改定について
* 事務局担当者より、近江八幡市教育大綱の改定素案について、資料１に基づき説明。
* まずは１～３ページの基礎部分についてご議論いただきたい。
 |
| 委　員 | * 「はじめに」は市民が教育大綱とは何かを理解する上で、とても大切なものだと思う。今回５つの目標を掲げるにあたり、目標４の要素が今一つ読み取れないものになっている。目標４は地域の力・家庭の力をいかに高めていくかという大事な部分なので、もっと強調した書き方をすれば、大綱全体の流れに沿ったさらに良い文章になると思う。
 |
| 市　長 | * 私も「はじめに」はとても大事な分だと思っている。教育長が中心となって作成した案は何のための教育なのかという点が示されており、とてもいいものになっていると思う。今後の修正もぜひ教育長が中心となって行っていただきたい。
 |
| 教　育　長 | * 「構成図」は「構成」のすぐ後に置いた方がわかりやすいのではないか。「策定の趣旨」の部分については第２期ということもあるので分量を削り、空いたスペースでうまくレイアウトしてほしい。
 |
| 市　長 | * 「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」というスローガンはとてもかっこいいと思っている。だから表紙に小さく入れるのではなく、案では基本理念が載っている場所に大きく載せてほしい。
 |
| 委　員 | * 「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」は十数年たってようやく市民の間に根付いてきた、それを大きく出していくのはとてもいいと思う。解説文も教育長が広報７月号で話されていた内容がとても分かりやすかったので、そちらに書き換えてもいいのではないか。
 |
| 市　長 | * 最近は近江八幡市の教育の特色は何かと聞かれれば、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」と答えるようにしている。いい言葉だと思う。
 |
| 委　員 | * 「他の計画との位置づけ」で様々な計画名が書かれているが、市民にはわかりにくい。例えば、どのような計画に基づいて策定され、それが実際の施策や現場業務にどのように影響していくのかを体系図のように整理できるといい。市民が一目見て、大綱がすべての人のための大綱だと感じられるようにしたい。
 |
| 事　務　局 | * 様々な意見をいただいたので、意見に基づき修正を進める。
* 続いて４～７ページの本文についてご議論いただきたい。
 |
| 委　員 | * 構成図の部分の字が小さい。
* 市長も話されていたとおり、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」は全体の根本となる重要な文言なので、「基本理念」の下に書き加え、解説も入れるという形でいいのではないか。
* 細かい話になるが「基本理念」の空白の位置が表紙と本文とで少し違う。『子どもが輝き　「人」が学び合い　ふるさとに愛着と誇りをもち　躍動する元気なまち　近江八幡』と統一したい。
 |
| 市　長 | * この「基本理念」というのは教育大綱の理念という理解でよろしいか。
 |
| 事　務　局 | * そうです。
 |
| 市　長 | * では、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」の励行により、この基本理念に掲げられた姿に近づけるということか。
 |
| 教　育　長 | * 「早寝・早起き・朝ごはん全国協議会」が早起きして朝食を食べる習慣が身についた人は自尊感情や資質・能力が高くなるという研究結果を公開している。
 |
| 市　長 | * 私自身も朝ごはんは子どものころからほとんど抜いたことがない。
* 基本理念はすごく座りのいい言葉にはなっているが、どこの市でも言っているような文言で、インパクトは薄い。だからこそ「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」の文言は入れたい。
 |
| 委　員 | * では、基本理念の下に～で囲む形で入れるよう事務局にお願いします。
 |
| 委　員 | * 施策④の「特別支援教育の推進」という文言について、当市の特別支援教育は他市に比べて先進的だと思っているので、単なる「推進」ではなくより「充実」させていくというニュアンスを持たせた文言にしたい。
 |
| 委　員 | * 施策⑤について、当市の教育としては就学前教育からのつなぎという部分も重視したいので、「校種間」という表現ではなく就学前からのつながりがわかる表現にした方が良い。
 |
| 委　員 | * 委　員のお話にもつながるが、施策⑦については習慣としていかに定着させるかということが大事だと思うので、「定着」という表現を入れたい。
 |
| 委　員 | * 施策②について、「郷土愛の醸成」という文言が市民にはなじみが薄くわかりにくいと思う。例えば「地域の歴史や伝統、文化を学ぶふるさと学習の推進」とした方が、市民の皆さんにとってはわかりやすいのではないか。
* 基本理念として、「愛着と誇り」という部分を言っているので、意味としては大きく変わらないと思う。
 |
| 委　員 | * 施策⑨について、地域の自然から学ぶことももちろん大事だが、地域に限らずもっと大きな範囲での自然から学んでほしい。「地域の自然」ではなく、「広く豊かな自然や人々の生活」とした方が良いのではないか。
 |
| 委　員 | * 「地域」という言葉は人によってとらえ方が違う。学区をイメージする人もいるし、滋賀県全体をイメージする人もいる。そういう意味でも限定しない方が良い。
 |
| 委　員 | * 人々の生活から学ぶという考えはとてもいいと思う。やはりふるさとは人々の生活や実際の体験から学ぶものだと思う。
 |
| 教　育　長 | * 施策⑪の中で教員の指導力という文言があるが、指導力だけではなく、人間性などの資質にも目を向けた文にしておいた方が良い。「資質・指導力」という文言にしておきたい。
 |
| 委　員 | * 単に「資質・能力」と書いておけば指導力もそこに含まれることになるのではないか。
 |
| 教　育　長 | * 単に「資質・能力」だけだと、市民からは指導力のことだけを言っていると思われる。そうではなく指導力以外の人間性の部分も大事にしたいという意味合いで、あえて「資質・指導力」としたい。
 |
| 委　員 | * お話を聞いていると、「資質」は教員の内にある力、「指導力」はそれが外に出されたものというイメージで受けとった。それら兼ね備えるという意味で、教育長の提案された表現が良いと思う。
 |
| 委　員 | * 施策⑭の書き方だが、語尾を他の施策と統一して「体制の確立」などとした方がいいのではないか。
 |
| 委　員 | * 目標④について、「家庭・地域の力を高め…」という文言があるが、家庭の力を高めるには当然親の学習が大事になるが、子育てをする親にはストレスのはけ口が必要。相談窓口の充実等、親への支援に関する施策を入れた方が良いのではないか。
 |
| 委　員 | * 確かに親が相談する場や、学ぶ場が不足しているとは感じる。幼稚園や小学校では相談サロンを頻繁に開いているが、中学校では少なく、相談が一か月待ちになっていることもあると聞く。施策として新たに盛り込んでもいいのではないかと思う。
 |
| 市　長 | * 相談という業務が行政になじみにくい部分はある。行政はあまり無茶なことは言いづらい。地域コミュニティの中で相談機能を担えたら良い。
 |
| 教　育　長 | * 先生には直接言いにくいのでSSW（スクールソーシャルワーカー）に相談するということになるが、その数が足りていないという問題がある。
 |
| 市　長 | * 日を決めてこの日なら相談できるという性質のものではなく、一定の場所に常駐しそこに行けばいつでも相談できるという存在がある方が効果的。実際に相談の件数は少ないかもしれないが、そこに行けば相談できるという安心感がストレスの緩和につながる。
 |
| 委　員 | * 学校の中でも外でも、一つ部屋を設けてそこに行けばいつでも相談できるというイメージでできればいいと思う。
 |
| 教　育　長 | * 小学校では生涯学習課の事業としてやっているが、中学校ではやっていない。親の居場所づくりという形で取り組んでいきたい。
 |
| 委　員 | * 学校だけの取組ではなく、市全体として、相談体制の充実・広報に取り組んでほしい。
 |
| 市　長 | * 色々な課題を解決できる可能性を持った施策だと思う。市全体として取り組んでいきたい。
* 施策⑯として「親の学びや相談支援体制の充実」に関する施策を新たに加える。
* 生涯学習課が実施している「子ども若者育成会議」などと連携させることもできると思う。教育委員会事務局とともに考えていきたい。
 |
| 教　育　長 | * 目標②の「故郷」という文言はすべて「ふるさと」に統一した方が良い。
 |
| 委　員 | * 目標②に「魅力」という文言があるが何の魅力なのか、例えば「ふるさとの魅力」というようにはっきりさせておく必要がある。
 |
| 市　長 | * 目標②について言うと「社会の担い手となる」というのは結果であって、最初から目標とするものではないと思う。しっかりと子どもを育てれば、自然と地域にも貢献してくれるものだと考えている。
* 「社会の担い手となる」ではなく「社会に貢献できる」という表現にしてはどうか。私もこだわりのある部分なので。
 |
| 委　員 | * 確かに「社会の担い手となる」とすると、そのためのロボットを作るようなイメージになる。「貢献できる」とするとあくまで自分の意志ということになるので、いいのではないか。
 |
| 委　員 | * 同じような話で、「人材」という表現も人を材料として扱っているようでいかがなものかと思う。「人」とした方が良いのではないか。
 |
| 教　育　長 | * 先ほど話していた施策⑧の修正とも併せて、目標②の文は全体を変える必要がある。ふるさと学習については、大人になった時に当市のことを心のどこかに持っておいてもらうための教育だと思う。それがあれば何らかの形で地域への貢献も期待できる。
 |
| 市　長 | * ふるさとの魅力といわれても語れない人も多い。ふるさとはアイデンティティとなるべきものだと思うので、そこを踏まえた文章にしてほしい。
 |
| 委　員 | * 目標⑤に親の力についての記述があるが、目標④の方にまとめた方が良いのではないか。
 |
| 委　員 | * 親や保護者の話で言うと、今年から学校運営協議会の制度が確立し、コミュニティスクールが市内全校で実施されることになった。この取り組みのことを目標④等どこかに盛り込めないか。
 |
| 事　務　局 | * 先ほどの委　員のお話と併せて、目標④は全体的に練り直す必要があると思う。教育委員会と協議し、修正していきたい。
 |
| 事　務　局 | * 続いて、全体のレイアウトや用語集の部分について、ご意見をいただきたい。
 |
| 委　員 | * ７ページのレイアウトについて、１８の施策を目標ごとに枠で囲うなどして整理したほうが見やすいのではないか。
 |
| 委　員 | * 文字はできる限り大きくした方が良い。
 |
| 市　長 | * 用語集は折角つけるのであれば本文中にものちに解説があることを示す記号などはつけておいた方が良い。
 |
| 委　員 | * 会議後改めて精読する中で、何か意見が出てくればお伝えしたい。
 |
| 事　務　局 | * 次回会議までに一度、今回の会議での意見を踏まえた修正案を委員の皆様には見ていただこうと考えている。その際にご意見いただきたい。
 |
| 事　務　局 | 1. **その他**
* 教育大綱に関わること以外でも何か皆様からお話ししておきたいことだあればお願いしたい。
 |
|  | **【意見無し】** |
| 事　務　局 | * 今後の予定について、第３回の会議は少し当初のスケジュールを前倒しにし、９月の下旬ごろに行いたい。別途日程調整はさせていただく。
* 次回会議では今回の意見を踏まえたパブリックコメント案を作成し、その案について議論をしたい。また、大綱の周知・広報の方法についても議論を始めたいと考えている。
 |
| 市　長 | * 本日の議題は以上となる。活発な議論をありがとうございました。次回も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
 |
|  | 終了　11時00分 |